

次世代省エネルギー基準促進時代に完全対応

Mag Confort SERIES

マグコンフォールシリーズ

快適な地球環境のために
快適な住環境のために
快適な施工性のために

マグが提唱する次世代省エネルギー基準対応シリーズ

平成21年4月1日に施行された改正省エネルギー法において、トップランナー方式が住宅にも導入されるとともに、住宅に係わる省エネルギー判断基準も合理化されました。こうした背景から、次世代省エネルギー基準に対応する住宅用断熱材の必要性が益々高まってくると予測されます。改正省エネルギー法の基準に適合する「防湿気密フィルム付属の高性能グラスウール断熱材<マグオレンジ>」を、是非ご利用ください。

※コンフォール [enfort] は、フランス語で「快適さ」という意味。快適な地球環境・住環境・施工性の実現を目指す当社のグラスウールのシリーズ名称です。
※オレンジ [orange] は、フランス語で「オレンジ」の意味。既存の住宅用次世代省エネルギー基準対応商品である「マグ ルージュ」の名称を継承し、色彩のフランス語表現を商品名としました。温暖な地域における次世代省エネルギー基準の普及促進を願い、冬には陽だまりのように暖かく、夏には夏みかんのように爽やかな住環境の実現に寄与するグラスウール断熱材でありたいという願いを込めて命名しました。

マグルージュ



別張り防湿気密フィルムが求められる寒冷地 (I、II地域) や、壁に横胴縁などの断熱施工上の障害物が多い工法にお奨め。断熱材の施工に加えて、別張り防湿気密フィルムの施工が必要。

特長

- 繊維飛散量が1/3
繊維飛散量が従来品の1/3に減少
施工時の不快感を大幅に軽減 (当社従来品との比較実験データ・当社測定比)
- 自立性が1.5倍
従来品の1.5倍の自立性を達成
施工性が大幅にアップし、ピツタリ施工を実現 (当社従来品との比較実験データ・当社測定比)
- ワンランクアップの断熱性能
従来の高性能グラスウールよりも、さらに細い3~4ミクロン繊維 (ハイパーマグウール) の採用で、ワンランクアップの断熱性能を確保 (当社従来品との比較実験データ・当社測定比)
- 撥水性グラスウール

■マグコンフォールシリーズ 使用推奨地域区分

- マグルージュ 使用推奨地域 [I、II地域]
- マグオレンジ 使用推奨地域 [III、IV、V地域]

グラスウール断熱材は...

優れた
断熱性能

優れた
吸音性能

優れた
不燃性能

優れた
安心素材

環境に
やさしい

マグオレンジ



温暖地 (III、IV、V地域) の次世代省エネルギー基準にお奨め。耳付防湿気密フィルム付属のグラスウール断熱材なので、構造躯体の見付面に防湿気密フィルムを耳掛けし、せつこうボード等の内装下地材で耳を挟みつけることで、防湿気密性能を発揮。

特長

- 厚さ50μ(0.05mm)の防湿気密フィルムをグラスウールに付属
 - ◆住宅用プラスチック系防湿フィルムのJIS規格(JIS A 6930)と同等品の防湿気密フィルムを採用
 - ・透湿抵抗が $82 \times 10^{-3} (\text{m}^2 \cdot \text{s} \cdot \text{Pa} / \text{ng}) = 170 (\text{m}^2 \cdot \text{h} \cdot \text{mmHg} / \text{g})$ と、高い防湿性能を確保
 - 〔一般汎用品である厚さ16μの防湿フィルムの性能は、透湿抵抗が $19 \times 10^{-3} (\text{m}^2 \cdot \text{s} \cdot \text{Pa} / \text{ng}) = 40 (\text{m}^2 \cdot \text{h} \cdot \text{mmHg} / \text{g})$ 〕
 - ・高い防湿性能で「住宅性能表示制度評価方法基準」の温熱対策等級4 (次世代省エネ基準) の結露防止対策規定をクリア
 - ・気密性能の確保が実現
 - ◆防湿気密フィルムの耳幅を30mm確保
 - ・グラスウール付属の耳付防湿気密フィルムを構造躯体に耳掛けするだけで、気密材の重ねシロ寸法30mmを確保 (耳掛けが不可能な箇所は、気密テープ等によって重ねシロを確保する)
- 高性能16K相当で、厚さ90mmと105mmのグラスウールをラインナップ
 - ◆高性能16K相当・厚さ90mm=熱抵抗値 $2.4 (\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W})$
 - ・断熱地域区分II~V地域における、次世代省エネ基準の壁に必要な熱抵抗値($R \geq 2.2$)をクリア
 - ・ツーバイフォー工法の壁厚にも適合
 - ◆高性能16K相当・厚さ105mm=熱抵抗値 $2.8 (\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W})$
 - ・次世代省エネ基準における、屋根又は天井のトレードオフ (補助) 規定に適用が可能
 - ・在来工法の壁厚に適合
- 撥水性グラスウール